

第6回「あと数マイル・プロジェクト」推進検討会議 会議録

日 時：令和8年1月28日 14:00～15:30

場 所：埼玉会館5階 5B会議室

出席者：

【委員】

久保田尚、金山洋一、伊藤香織、生田美樹（順不同、敬称略）

【事務局】

埼玉県企画財政部交通政策課

日本交通技術株式会社

傍聴者：1名

記 者：1名

【司会】

それでは、ただ今から「第6回「あと数マイル・プロジェクト」推進検討会議」を開催いたします。進行を務めます、交通政策課の渋谷と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は、傍聴希望の方がいらっしゃいます。

なお、本日の会議には、傍聴希望の方がいらっしゃいます。

傍聴に関しては、県の指針に基づき、オンラインで行います。

傍聴者の皆様におかれましては、会議傍聴中は事務局の指示に従っていただきますようお願いいたします。なお、HPでお示しした傍聴要領の3「会議を傍聴するに当たって守るべき事項」の規定に違反し、かつ事務局からの注意に従わないときは、退室していただく場合がございますので、御了承ください。

それでは、これよりお手元にお配りいたしました次第に沿って進めさせていただきます。

始めに、開会にあたりまして、埼玉県企画財政部 地域経営局長の今西から御挨拶を申し上げます。

【局長】

皆様こんにちは。財政部地域局長の今西でございます。会議の開催にあたりまして一言御挨拶を申し上げます。

本日は御多忙にもかかわらず、本会議に御出席いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

令和6年度に設置をいたしました「あと数マイル・プロジェクト」推進検討会議も、今回で最終回となります。

前回、第5回に会議おきましては、本会議の結論となる、路線ごとの課題と取組の方向性につきまして御審議をいただきました。

専門的な見地から、多くの御意見、御提案をいただきましたので、それを反映させた案を事務局で作成いたしまして、本日の資料とさせていただきます。

本日は課題と取組の方向性の案に対しまして、さらに御意見御提言をいただくとともに、報告書の作成に向けた御意見を賜れますと幸いです。

2年間にわたる本会議の総仕上げとなりますので、皆様からの忌憚のない御意見の御提言を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【司会】

ありがとうございました。

それでは、ここからの進行につきましては、久保田委員長にお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

【委員長】

はい。ではここから進行させていただきますので、今日もよろしく申し上げます。

まず会議の公開についてお諮りします。

この会議におきましては、これまで、率直な意見交換を行うため、また発言によっては特定の関係者の利害に影響がある内容を含むと考えられることから、検討会議として事務局の説明までは公開、意見交換については非公開としてきました。

今回の会議も同様の趣旨で同じ取り扱いとしたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

それではそのように決定いたします。事務局から補足説明はありますか。

【事務局】

はい。この後の事務局による資料説明は傍聴が可能ですが、資料説明後の意見交換は、ただ今の決定を受け、非公開となります。

取材記者の方におかれましては、その旨御承知いただきますようお願いいたします。

【委員長】

では議題に入ります。

本日の議題は、「報告書取りまとめに向けた検討」になります。

では、資料により事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料1の説明をさせていただきます。

「あと数マイル・プロジェクト」の各路線の課題と取組の方向性について、前回の第5回会議において事務局が作成した資料をたたき台として御議論いただきましたが、その際に委員の皆様からの御意見・御指摘のあった事項を追加・修正したものです。

この資料を御確認いただき、さらに修正すべき点等について御意見をいただきたいと思えます。

最初に、東京12号線についてです。

1ページを御覧ください。

まず、全路線に共通する事項として、「路線ごとの性格が違うので、その部分をもっと具体的に掘り下げ、メリハリをつけた方がよい」との指摘がございましたので、上段の「沿線地域の現状」の部分に「延伸路線の特徴」を追加し、路線ごとの性格などについて追記しました。

追記した項目としましては、2つ目の「リニア地下鉄で輸送力に課題がある」こと、3つ目の延伸区間が県域を東京、埼玉、東京、埼玉と交互に通過する、という部分です。

また、一番下に東京都の取組の現状を追記しました。

次に課題と取組の方向性についてです。

前回の資料では「項目」のみ記載しておりましたが、課題についても、路線の特徴や事業の進捗を踏まえた内容となるよう、説明を追加しました。取組の方向性については、具体的な内容になるような記載に修正しております。

①の「まちづくりのビジョンと鉄道の位置付けを整理」については、主な内容として2点記載しております。

取組の方向性については、「中核的なエリア」、「居住エリア」などの言葉を追記するとともに既成市街地への影響に関する内容も追記しました。

次の②については、B/Cや事業採算性に加え、「地域社会や地域経済への効果も重要である」との意見をいただきましたので、追記しております。項目名も「事業性の確保」から「事業性の確保と事業効果の検証」といたしました。

取組の方向性にも、便益以外の効果について追記しております。

③については、課題に、複数あるルート案の絞り込みが必要であることについて追記しております。

④については、課題に説明を追記しております。

⑤については、現状のところにも記載しておりますが、東京都の現状を踏まえた内容としております。

⑥については、前回会議での御意見をもとに記載しております。

以上が東京12号線の課題の整理と取組の方向性についての説明となります。

なお、各項目について共通しますが、これから作成する報告書にはもう少し詳しい内容を記載していく予定です。

次に東京8号線についてです。

2ページを御覧ください。

「沿線地域の現状」の部分に、12号線と同様に「路線の特徴」を追記しております。

1つ目に、延伸距離が長く関係自治体が多いという路線の特徴を追記しました。

下から2つ目の関係自治体の状況については、「押上～八潮間の検討が進んでいない」ことについて追記しました。

また、一番下に東京都の事業区間の進捗について追記しました。

次に課題と取組の方向性についてです。

こちらについても路線の特徴や事業の進捗を踏まえた課題となるよう説明を追記しました。

①については、「延伸距離が長い」という特徴を踏まえ、項目名も含め、修正しました。また、BRTとの連携について御意見がありましたので、追記しました。

②については、事業効果に関する内容を追記しました。また、大規模施設に受益者負担を求めることを検討してもよいとの御意見がありましたので、それについても追記しました。

③については、駅の数が多いという特徴を踏まえた内容としております。

④については、東京都や千葉県の実況を踏まえた内容となるよう修正しました。

⑤については、12号線と同様に、前回会議での意見を元に記載しております。

次に日暮里・舎人ライナーについてです。

3ページを御覧ください。

まず、延伸路線の特徴と沿線地域の現状でございます。1つ目に「新交通システムで輸送力に課題がある」ことを追記しました。

また、4つ目ですが、地域の現状として「草加市から川口市方面」「足立区から川口市方面」への鉄道以外の自動車、自転車による通勤・通学流動が多いことについて記載しました。

次に課題と取組の方向性についてです。

未答申路線については、前回の会議資料では、延伸する場合と新たな交通システム導入の場合の2つに分けて記載しておりましたが、今回の資料では一つにまとめております。

①については、延伸以外にも様々な選択肢がありますが、いずれにしても意義を確認し、ルートを絞り込む必要があります。

取組の方向性については、延伸の場合と新たな交通システム導入の場合では異なるため、分けて記載しております。

②の混雑率上昇への対応については、ネットワーク分析の必要性などについて記載しております。

③については、道路部門との連携として、街路事業としての条件等の検討について追記しております。

④については、交通政策審議会への対応について追記しております

最後に多摩都市モノレールについてです。

4ページを御覧ください。

まず、延伸路線の特徴と沿線地域の現状でございます。

路線の特徴として、1つ目に上北台からの延伸の場合には、駅の構造変更が必要であることを追記しております。

また、3つ目の東京都事業区間の状況については、東京都の取組に進展がありましたので、修正しております。

次に課題と取組の方向性についてです。

①については、観光の視点が重要であるとの御意見がありましたので、それを踏まえた内容に修正しております。

②については、日暮里・舎人ライナーと同様に連携の具体的な内容について記載しております。

③については、観光部門との連携について、説明を追加しております。また、取組みの方向性として、エリアマネジメントの視点についても追記しました。

④については、交通政策審議会への対応について追記している他、資金調達の手法については、国の補助金を活用する場合も民間資金について検討すべきとの御意見をいただきましたので、追記しております。

資料の説明は以上になります。

前回会議での御意見を受け、事務局で修正いたしました。さらに充実した内容となるよう、アドバイスをお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

この後、委員による意見交換に入りますが、ここからは非公開で行います。大変恐縮ですが、記者の方は退席をお願いいたします。事務局は、傍聴者の方の非公開手続をお願いいたします。

(意見交換) (「あと数マイル・プロジェクト」推進検討会議設置要綱第5条第2項により非公開)

【委員長】

それでは意見交換を終了いたしまして、傍聴公開としたいと思っておりますので、傍聴の方の公開手続き、それからもしかしたら外にいらっしゃるかどうか分かりませんが、記者の方いらっしゃったら入っていただくことでお願いします。

【委員長】

はい、では次にその他に参ります。ここから公開で進めさせていただきます。まず事務局から何かその他についてございますでしょうか。

【事務局】

その他といたしまして、本日の会議録の取り扱いにつきまして御説明いたします。本日の会議の主な御意見をまとめました議事の概要及び会議録につきましては、事務局の方で作成しまして、後日、委員の皆様へ御確認いただいた後、公表したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。また、報告書につきましても、先ほど委員長からも話がありましたとおり、準備ができましたら、各委員にメールの方で御確認を依頼させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい、ということでよろしくお願いいたします。委員の皆様から何か御発言ございますか。よろしいでしょうか。それでは予定された議事は以上でございます。ありがとうございました。あとは報告書の作成でございますが、一応委員会としてはこれで閉じたいと思っておりますので、事務局に進行をお返しします。ありがとうございました。

【司会】

久保田委員長、ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりお疲れ様でございました。委員長からお預かりした会議はこれで終了となりますが、最後

に、有識者の皆様から、一言ずつお言葉を頂戴できればと思ひまして、大変恐縮でございます。こちら御紹介いただきましたら、一言お言葉いただければと思ひます。最初に生田委員すいません、よろしくお願ひいたします。

【委員】

ありがとうございます。本当に御説明、2年間にわたって本当にありがとうございました。お疲れ様でございました。埼玉県は、本当にポテンシャルが高いと思ひていますので、ぜひ延伸をして、東京都とつながっているところはあまりないので、他の自治体さんよりすごくポジションが高いと思ひていますので、ぜひメリットを享受して稼げる地域になっていただければなと思ひます。あと、この資料にも書かれていたのですが、やはりB/Cだけではなくて、他の項目も含めて総合的に評価していくというのが非常に重要だと思ひますのでそのあたりも御検討いただければと思ひます。ありがとうございます。

【司会】

ありがとうございます。続きまして、伊藤委員。よろしくお願ひいたします。

【委員】

ありがとうございます。私は埼玉県にあまり土地勘がない上に、交通の専門家でもないので、素人が入ってきてかき回すというか、好きなことを言うみたいな感じになってしまったので、いろいろ御迷惑もおかけしたかと思ひますが、鉄道にせよ交通というのは、延伸するにせよ、それ自体が目的ではなくて、先ほども生田委員からウェルビーイングとシビックプライドというお話をされましたが、やはりそこに住んでいる人たちがどうやって幸せに住めるようになるのかということが最終的な目標だと思ひます。それを考慮しながら進めていただいていると思ひますので、その視点で、今日、ミッションのお話もありましたが、最終的な目標を常に置きながら、ぜひ積極的に進めていただければと思ひます。よろしくお願ひします。

【司会】

ありがとうございます。続きまして、金山委員。お願ひいたします。

【委員】

今回、あと数マイル以上プロジェクトということで議論させていただいたわけですが、もう一つの委員会がありますよね、基本公共交通の関係。これはどちらも非常に重要でありまして、今回この、いくつかの具体的な路線について検討したわけですが、バスとの結節とか、それから郊外部における埼玉県北部地域を中心とするレベルオブサービス、LOSをどうやって維持していくのかとか。非常に担い手不足もありますし。結局は都市が衰退してはいけないというのがあります。埼玉県は、御案内のとおり、都市計画学会が日本の縮図と。南部は東京、北部はかなり違う、と、いろいろ抱えていて、非常にフィールドの広い、範囲の広い県でありまして、今回は主に南の方を中心にここでは議論しました。実は北部の方も中部も含めてですね、鉄道というものをどうするのか。サービスレベルをどうするのか。どちらも大事だと思うのですよね。したがって埼玉県ブランド、住みやすいブランドというものをより広く位置付けるためにはそういったところも、同じような課題として意識していく必要があるのかなと思ひております。

もう一個の検討委員会と連携しながら、こちらは南部がメインですが、この知見を共有しながら県民のために引き続き取り組んでいただくのかなというふうに思っているわけです。北部のことを言う瞬間ですね、いきなり先ほど言ったB/Cの話が出てきまして、今のマニュアルを使うと、概ねみんなやめてくださいということになりまして、欧州なんかでは御存知のとおり、日本のようなマニュアルを使えば、欧州の鉄道は廃線しろと、そういう状況なぐらいある部分しか評価してないんですよ。そういった意味では、繰り返しますが、いろんな評価手法についても自治体・県さんの方にもかなり先導的にいろいろ検討していく、北部の方をどう引くのかというマーケットの目線もありますので、そこもよく議論

していただくといいのかなと思っています。

あとは最後になります。2つの委員会それぞれすごい報告書をまとめたり、あるいはこれからまとめて大変、担当者お正月ないんじゃないかとかボーナス出ないのかなとか思うわけですが、まとめたら多分力抜けますので、大事なところはそこから先のチェックです。ローリング。県さんは非常に重要なポジションですが、マネジメントをちゃんとしていかないといけないのかなと思いますので、そういった意味で今回いろいろ関わらせていただきました議論した事柄が有効に実務的に反映されていくように期待したいなと思っています。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

【司会】

ありがとうございました。最後に久保田委員長お願ひいたします。

【委員長】

非常に拙い委員長で申し訳ございませんでした。私としては非常に毎回楽しく議論させていただいて、鉄道専門家の金山先生、建築まちづくりの伊藤先生、それから経済政策に詳しい生田先生という非常に多様な委員会をつくっていただいて、事務局ともども、毎回歯止めのない議論をさせていただいたと思っています。非常にありがとうございました。

私、大体40年ぐらい前に埼玉大学に赴任しまして、それからずっといるのですが、道路については随分変わりました。当時、外環もなかったし、圏央道もなかったし、本当にひどかったですよ。埼玉県は道路って。4車線同士の交差点ってどこにもなくて、唯一あるのは所沢の米軍基地の中だったという笑い話があるのですが、道路についてはかなり良くなったのです。ただ、鉄道はおそらく40年間変わってないんじゃないかな。私の記憶違いかもしれないが、じゃないかと思ひます。では、いらぬかというとなんなことは全然なくて、さっきも少し言ひましたが、埼京線なんかあんなに毎日毎日ものすごく混んでいるわけですよ。他の鉄道もみな然り。だから公共交通、特に軌道系の交通の需要は非常にあるところであると、いうのは私も痛感しておひます。そういう意味では、今回の委員会、非常に重要なテーマを預かっていただいたと思っていますので、実現までにはそう簡単な道のりではありませんが、ぜひ今回の委員会を一つのきっかけとして、結実に向かって進んでいただければと思う次第でございます。本当にどうもありがとうございました。

【司会】

委員の皆様のお協ひありがとうございました。最後に、地域経営局長の今西からお礼と挨拶を申し上げたいと思ひます。

【局長】

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、本日の会議に御参加いただきまして、誠にありがとうございました。また、昨年度からの2年間、皆様の、非常な専門に基づくいろんな知見で、6回にわたりまして、本会議において多くの御意見、御提言をいただきましたことを重ねて御礼申し上げます。

本日もいろいろな多くの意見あり、提案をいただいたと感じておひます。本日いただきました意見につきましては、事務局で取りまとめて、報告書にはしっかり反映させていきたいと思ひます。その報告書をまとめます過程におきましては、またいろいろと確認をさせていただくことがあると思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、報告書なのですが、完成をいたしましたら、知事の方に、日程調整をした上になりますが、知事に報告することを考えておひますので、引き続き御協ひをお願ひ申し上げます。皆様からいただきました御意見、御提言を踏まえまして、プロジェクトの推進に引き続き取り組んでまいりますので、来年以降にもつきましても、都度アドバイスをいただければ幸ひでございます。委員の皆様に対しまして、感謝の言葉をもちて挨拶に代えさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。

【司会】

以上をもちまして、「あと数マイル・プロジェクト」推進検討会議を終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。